



# す 舞 る

## special support smile 舞鶴

発行：京都府立舞鶴支援学校 地域支援センター「トータルサポートセンター（TSC）」

◇ 住所：京都府舞鶴市字堀 4 の 1 (〒624-0812) ◇ 電話：0773-78-3133 ◇ FAX：78-3135

## ～平成 27 年度の年間相談活動のまとめ～

### 〈トータルサポートセンター〉(3 月末見込み)

#### (1) 学校種別の相談・支援件数

総計	全 体		保育所・園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	259	129	6	14	13	11	81	71	111	27	0	1	0	0	48	5
	388		20		24		152		138		1		0		53	

#### (2) 新規相談の主たる相談内容

新規相談件数	学習（内容・支援の手立て等）	コミュニケーション・生活	就学・進路	支援体制（サービスを含む）	研修について	その他
129	55	71	0	0	0	3

・相談件数は昨年度に比べて 26 件ほど減少しました。高等学校からの相談が少なかったこと、行永分校の短期サポート事業が減少したことが考えられます。また、その他の事業としては、パネルディスカッション等の取組により、関係機関との連携が進みました。

### 〈TSC・視覚相談関係〉(3 月末見込み)

#### (1) 学校種別の相談・支援件数

総計	全 体		保育所・園		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		その他	
	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規	継続	新規
	97	67	1	4	2	4	79	42	11	10	2	2	0	3	2	2
	164		5		6		121		21		4		3		4	

#### (2) 新規相談の主たる相談内容

新規相談件数	学習（内容・支援の手立て等）	コミュニケーション・生活	就学・進路	支援体制（サービスを含む）	研修について	その他
67	52	10	0	0	0	5

・相談件数は昨年度に比べて 27 件ほど増加しました。今年度は高等学校からの相談依頼がありました。また、各地域の通級指導教室や各地域支援センターと連携した相談支援が定着してきました。

## 「パネルディスカッション&講演」の取組報告

昨年12月24日に実施しました「パネルディスカッション&講演」の様子を報告させていただきます。

### ◇パネルディスカッション「切れ目のない支援システムの充実に向けて」

真下 知子 氏（舞鶴市子ども支援課）、岡山 真美 氏（舞鶴市学校教育課）、谷口 藤雄 氏（福知山高等学校）今安えりこ 氏（地域生活支援センター）の4名のパネラーから、各ステージでの相談支援の状況や課題等について報告がありました。その後、参加者からの質問も含めて、短時間でしたが協議を行いました。

最後に藤井 茂樹 先生（びわこ学院大学）から「何よりも、一人一人が自分の置かれた場所で、きちりとネットワークを作って対応することが大事。できない人は友達を一杯作って、友達にやってもらったらいい。自分だけでしようとしない。お互いに人間関係を作り、網の目のようなネットワークを作ることで、受け皿になる。」など、大切な指導助言をいただきました。

### ◇講演「切れ目のない支援システムの充実に向けて～移行支援～」

講師 びわこ学院大学教授 藤井 茂樹 先生

前段のパネルディスカッションの討議も踏まえ、障害のある児童生徒等に対する早期からの一貫した支援に関わって「国の施策」や「就学前・就学後の発見と支援」「切れ目のない連携」「特別支援学校のセンター機能」「湖南市の取組」等、制度から具体的な支援内容まで、多岐に渡ったお話を聞かせていただきました。

### ～受講者の感想（一部紹介）～

- ・方向性の見えてきた内容でした。個々の組織や事業所、学校等がそれぞれにつながり合ってきたものが統合される流れが目の前で広がったように思います。
- ・各ステージの努力によって、今一つ一つの体制が整いつつあることを実感しました。まだまだ課題は多くあると思いますが、一つ一つの取組が充実していくことで顔と顔がつながり温かみのある支援につながっていくと感じました。今日、お話しされたパネラーお一人お一人から、本人、保護者、家族にとって本当のニーズに応じた支援は何か、誠心誠意支援されていることが伝わってきて自分の立場で何ができるか考えていきたいです。
- ・特別支援教育に携わらせてもらっている中で、それぞれのライフステージやつなぎでの確かな支援が大切だと痛感しています。様々な機関の方が集まりそれぞれで大切にされていることや課題がわかり、この大会の素晴らしさを改めて感じました。今後も継続していただき、更に市内の様々な方に参加していただきたいと思いました。
- ・藤井先生のお話からするとシステムづくりを基礎として個々の力量を高めていくことに帰結されるのかなあと、その意識づけを行政の責務として負う必要があると感じました。教育からの発言がしやすい環境のために、日々のネットワークづくりが重要ですね。

## お知らせ ～平成28年度から視覚に関わる相談支援システムが変わります～

すでに各関係機関には別途お知らせしましたように、来年度から北吸分校で実施していました「視覚に関わる相談支援」が次のように変わります。

- ① 視覚障害（全盲・弱視等）に関わる相談支援につきましては、これまでと同様に舞鶴支援学校が対応しますので、舞鶴支援学校トータルサポートセンターに御連絡ください。
- ② 「見え方」についての相談支援につきましては、各地域支援センターが対応することになりましたので、各地域にあります「支援学校（与謝の海支援学校、中丹支援学校、舞鶴支援学校）」に御連絡ください。

※なお、行永分校で実施していました「短期サポート事業」はそのまま継続します。